

さくら祭り 協賛金のお願い



開催日 3月28日(土) 13:00 ~

会場 香椎第2中学校グラウンド

校区で初めて開催するさくら祭りが近づいてまいりました。現在、さくら祭り事業費として、校区の企業、商店、有志の皆様を始め、町内会、共催団体、公民館サークル等の皆様から協賛金を集めさせていただいております。ご芳志いただいた協賛金につきましては、中学校グラウンドに設置する舞台など開催に係る費用に活用させていただきます。ご協賛へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

当日は、14の出店団体(キッチンカーも来ます)がたくさんメニューをそろえて入場者の皆さまをお迎えします。ダンス等のイベントやお楽しみ抽選会のプログラムを掲載した「さくら祭り特集号」(抽選券引換券付き)は3月にお届けします。

香住丘校区さくら祭り実行委員会



外国人交流事業

ネパール料理を堪能、おしゃべりも楽しみました

昨今は、ここ東区でも外国人労働者が増加し、職場や街中で接する機会が増える中、1月31日(土)、香住丘公民館で日本で暮らすネパールの人たちと交流の機会がありました。

最初は、ダカル ムクティナスさんのお話し。2013年4月留学生として来日、3年前から料理店等を経営されていますが、来日後初めての就職先で厳しい工場長の下で働いた苦労話に会場はシーンと静まりましたが、その後は日本とネパールの挨拶(「ナマステ」の一つだけ)など、文化の違いを色々面白おかしく語ってくれました。最後に、「今、気付いたこと」として、「外国人は迷惑をかけていると思う。ルールを知らない。マナーも知らない。ただ、敢えて言わせてもらおうと、大人になって、日本に来て、『こうだよ』と教えてもらっても、聞いても忘れる、知っても守らなかったりする。だから、今日の、このような交流事業を

そば打ち体験 美味しいおそばをつくりました

2月14日(土)、「福岡そばの会」から8名のそば打ち名人を講師に迎えて、香住丘公民館でそば打ち教室を開催しました。

地域の方々、福岡女子大学の学生と留学生合せて24名が参加され、名人のそば打ちを見た後、3~4人のグループでそば打ちを体験しました。そば打ち名人の最年長者は92歳の方で、そば打ちが元気の源とおっしゃっていました。最後に名人の打ったそばと参加の皆さんが打ったそばの食べ比べもさせていただき、美味しいおそばを皆で堪能しました。



♪♪ 校区のニュースは、ホームページでもお知らせしています。♪♪
→ 「香住丘校区自治協議会」で検索!!

開いてお互いが話し合う場を設けることが大切だ。この後何回も開いてください。」と訴えるような語り掛けが印象に残りました。

もう一人、2008年、留学生として来日。石川県金沢市で日本語学校に通い、現在は福岡市で家庭を持ち、2年前から福岡国際市民協会に勤めているバストラさんは、まず最初に、ネパールで支援活動をしているJICAのお陰で、普段から日本人と触れ合う機会があった。それで大きくなったら日本に行きたいと自然に思っていたという「日本に来るきっかけ」を話されました。その後、日本の印象、日本に来て一番困ったことなどを話し、「最初は金沢にいたということだが、なぜ福岡か？」の質問に、「住みやすい。何となく私の故郷に似ていた。」と話されたのには、会場は「ホ〜・・・」。

おしゃべりを楽しむ中、ムクティナスさんが和白1丁目で経営するレストランのネパール料理が振る舞われ、会場の皆さんは美味しい、美味しいの笑顔満載でした。



電話でお金はすべて詐欺! すぐに相談・110番



かしいかえん跡地と香住丘の未来 ワークショップ

花園への熱い思いが語られました

1月25日(日)、香住丘公民館で標題の第1回ワークショップが46名の参加者を迎えて開催されました。冒頭、かしいかえん跡地利用懇話会のメンバーから、過大規模校化している香住丘小、香椎2中の移転用地としての活用などを求めて市や西鉄への要望書の提出以降、このワークショップ開催に至る経過が説明されました。

第一部では、福岡鉄道資料保存会理事長の吉富実さんから実業家第4代太田清蔵翁による香椎・香住丘地域と香椎花園の歴史が紹介されました。戦前に開園された「香椎チューリップ園」は、戦時下の食糧増産のため、田んぼや芋畑となり、ために農地とみなされ、戦後の農地改革により国から強制収用されそうになったが、香椎町議会の尽力により、公共的な文化遊園を施設するという条件で収容を免れ、香椎花園の基礎ができたことを、当時計画された壮大な鉄道敷設計画と併せて語られました。

第二部は、「私の思い出」と題して、ファシリテーター(対話の促進役)の山口覚さんのもと、参加者全員で、花園の思い出を語るおしゃべりタイムとなりました。過去を語る中で未来に繋げる熱い思いが聴かれました。



アンケートの一部を紹介します。

(ホームページには全文を掲載する予定です。)

- 年代別のいろいろな方々と会話してみて、前香椎花園だった土地には、最先端のものばかりではなく、地域の方が利用できたり、地域の活性化につながる施設をつくるべきだと思いました。(中学生、男性)
- 自分だけで、小学校の改善を考えていたが、他の方も考えて行動してくださっていたので、とても感動しました。地域のため、未来の子ども達のためにより良い土地運営になって欲しいと強く思います。(40代、女性)
- 香住ヶ丘の歴史を勉強できて、大変楽しかったです。かしいかえん跡地は、これまでの歴史を踏まえると、自然と調和した建物を作ってもらい、地域住民も参加できる施設があればよいと思います。(50代、男性)
- 歴史をつむぐ形が望ましい。新しいものをつくるだけでなく、その先にどう活用していくかを視点として持ちたいと感じます。(50代、男性)
- このワークショップの時間が3時間であったが、あっという間だった。今回、話し合った内容を共有し、まとめて跡地利用の要望に取り入れて欲しいとのことだったので、よろしくお願いします。(70代以上、男性)
- 昔の花園と現在に至るまでの経過が知れて良かった。緑豊かな公園、野外ステージ等を持った色々な行事ができるような、開かれた場所になって欲しいと思います。(70代以上、女性)